

平成 24 年 11 月 7 日
国土交通省鉄道局

ホームドア等の整備状況について

国土交通省では、駅のホームからの旅客の転落防止対策としてホームドア等の整備を進めているところです。このたび、【平成 24 年 9 月末現在】における整備状況をとりとめましたので、お知らせいたします。

1. 「全国の駅」におけるホームドアの整備状況 【資料 1】

- ・ホームドア → 539 駅（平成 24 年 4 月以降：+20 駅）
（平成 24 年 4 月以降に整備された 20 駅）
 - ・札幌市南北線 6 駅（麻生～さっぽろ間）・東武東上線 1 駅（和光市）
 - ・京王線 3 駅（調布、布田、国領）・小田急小田原線 1 駅（新宿）
 - ・東京メトロ有楽町線 1 駅（銀座一丁目）
 - ・都営大江戸線 8 駅（両国～飯田橋～牛込柳町間）

2. 1 日あたり平均利用者数「10 万人以上の駅」における転落防止対策の現状【資料 2】

- ・整備済駅 → 119 駅/235 駅（51%）（平成 24 年 4 月以降：+12%）
 - ホームドア：34 駅（平成 24 年 4 月以降：+4 駅）
 - 内方線付き J I S 規格点状ブロック：85 駅（平成 24 年 4 月以降：+24 駅）

※平成 23 年 8 月の「ホームドアの整備促進等に関する検討会」中間とりまとめ【資料 3】において、10 万人以上の駅において「ホームドア」又は「内方線付き J I S 規格点状ブロック」の整備を優先して速やかに実施（「内方線付き J I S 規格点状ブロック」の場合は概ね 5 年で整備）することとされたところ。

なお、ホームドアの整備については、

- 車両扉位置の相違等の技術的課題
- 膨大な整備コスト（1 駅あたり数億円から十数億円）
- 各地方自治体の理解と支援（国と鉄道事業者のみの取り組みでは不十分）

等の課題がありますが、国としては、

- 整備コストに対する支援（補助制度、税制特例）
- 車両扉位置の相違やコスト低減等の課題に対応可能な新たなホームドア等の研究開発の推進（補助制度） 【資料 4】

等により速やかな普及に向けて取り組んでいるところです。

【連絡先】

国土交通省 鉄道局 都市鉄道政策課 駅機能高度化推進室 担当：高桑、尾坂

TEL：03-5253-8111（内線 40622、40619） 03-5253-8584（直通） FAX：03-5253-1635

技術企画課 担当：権藤、小池

TEL：03-5253-8111（内線 40702、40713） 03-5253-8546（直通） FAX：03-5253-1634